

豊かな自然との共存をめざして・・・ 地域と市民団体が取り組む 野生鳥獣保護管理



近年、全国各地で、野生動物が人里に出没し、社会問題化しています。新潟県内でも、ツキノワグマやニホンザルなどによる人身被害や農業被害、カワウによる漁業被害が多発するようになりまし。これまで生息しなかったイノシシやニホンジカも増加の一途をたどっています。昨年は長岡市の小学校にイノシシが突入、小千谷市の市街地にまでイノシシが出没して、住民を恐怖に陥れました。

一方、ツキノワグマは、九州では絶滅宣言が出され、四国では絶滅寸前となっています。本州中部以北では、人里への出没が頻発して多くの個体が駆除され、このままでは絶滅の道を歩むのではないかと危ぶむ声もあります。

昨年11月に開催された南魚沼市でのシンポジウムでは、鳥獣被害に苦しむ地域の深刻な状況と、猟友会頼りの綱渡り的な鳥獣管理の実情が明らかになりました。今回のシンポジウムでは、今おきている野生鳥獣問題の実態と先進地の実践例を学んで、地域住民や市民団体が鳥獣被害防止の一翼を担う力を身につけ、野生鳥獣と共存していく道を模索していきたいと思ひます。

◆ 期 日 2009年6月6日(土) 10:00~16:30

◆ 会 場 サンラックおぢや 大ホール

小千谷市大字桜町5140番地 電話:0258-83-2340

◆ 日 程 参加費 500円(資料代)

9:30~ 受付 ・お昼の弁当注文受付(600円)

10:00~ 開会の挨拶 柳田 宏光(雪国自然学校)

祝辞:小千谷市長 谷井 靖夫 氏

10:20~12:30 **基調講演**

(仮)地域が取り組む鳥獣保護管理
岸元 良輔 氏・林 秀剛 氏

12:30~13:30 昼食休憩

13:30~16:30 **パネルディスカッション**

林 秀剛 氏(信州ツキノワグマ研究会代表)

岸元 良輔 氏(長野県環境保全研究所)

大塚 晃生 氏(日本自然保護協会自然観察指導員)

箕口 秀夫 氏(新潟大学農学部生産環境科学科)

山本 麻希 氏(長岡技術科学大学生物系)

16:30 閉会の挨拶 諸橋 潔(生物多様性保全ネットワーク新潟代表)

17:30~ 交流会(小千谷市民の家) 参加費:交流会のみ3,000円・宿泊5,000円(翌朝朝食付き)



6月7日(日) 午前中 エクスカーション「鳥獣問題の現場での野外研修」

・・・小千谷市山本山~周辺市町村

◆ 主 催 雪国自然学校・生物多様性保全ネットワーク新潟

◆ 共 催 南魚沼自然塾・津南町自然に親しむ会・NPO法人 越の里山倶楽部・新潟県自然・環境保全連絡協議会・NPO法人 魚沼交流ネットワーク(交渉中)

◆ 後 援 小千谷市・十日町市・魚沼市・川口町・長岡市・(財)こしじ水と緑の会

連絡・問い合わせ 雪国自然学校事務局
・Tel. 025-270-2010 Fax. 025-270-2011 naturewk@basil.ocn.ne.jp

この催しは、財団法人 こしじ水と緑の会・朝日酒造自然保護活動助成基金 からの支援で運営します